中学校歴史 単元別学習 90 問

第 4 単元 貴族の政治と国風文化

範囲：平安京と仏教／摂関政治と荘園／国風文化／院政と武士の台頭
用語を確かめ、出来事の順序や、暮らし・政治・文化のつながりを説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

平安京と新しい仏教

問 1　794 年に平安京へ都を移した天皇は誰か。

問 2　794 年に都が移された、現在の京都市にあたる都市は何か。

問 3　桓武天皇の命で東北地方の征討を進めた将軍は誰か。

問 4　坂上田村麻呂らが任命された、東北の征討軍を率いる役職は何か。

問 5　最澄が活動の拠点とした、比叡山の寺はどこか。

問 6　唐で学び、日本に天台宗を広めた僧は誰か。

問 7　最澄が日本に広め、比叡山延暦寺を拠点とした宗派は何か。

問 8　唐で密教を学び、日本に真言宗を広めた僧は誰か。

問 9　空海が日本に広め、高野山などを拠点とした宗派は何か。

問 10　空海が開いた、現在の和歌山県にある仏教修行の場となった山はどこか。

摂関政治と東アジア

問 11　娘を天皇の后にするなどして、摂関政治で力を持った貴族の一族は何氏か。

問 12　天皇の母方の親族などを指す呼び名は何か。

問 13　幼い天皇に代わって政治を行う役職を何というか。

問 14　成人した天皇を補佐して政治を行う役職を何というか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　藤原氏が外戚として摂政や関白になって行った政治を何というか。

問 16　11 世紀初め、娘たちを天皇の后にし、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰か。

問 17　藤原道長の子で、平等院鳳凰堂を建てた人物は誰か。

問 18　894 年に遣唐使の派遣を取りやめるよう建議した人物は誰か。

問 19　平安時代後半、その商人たちが日本と貿易を行った中国の王朝は何か。

土地と地方の政治

問 20　貴族や寺社などが所有し、経営した私有地を何というか。

問 21　荘園と区別され、国司が支配した公的な土地を何というか。

問 22　中央から派遣され、地方の国を治めた役人を何というか。

問 23　国司のうち、現地で政治や税の徴収の責任を負った者を何というか。

問 24　土地の保護などを求め、有力な貴族や寺社に土地を差し出すことを何というか。

問 25　荘園で、国家への税の一部またはすべてを免除される権利を何というか。

問 26　荘園に国の役人などが立ち入って調査することを拒む権利は何か。

問 27　土地や一族を守るために武装し、戦いを専門とするようになった人々は何か。

問 28　有力な武士を中心に、武士たちがまとまった集団を何というか。

問 29　10 世紀に関東で反乱を起こし、「新皇」と称した武士は誰か。

国風文化と文学

問 30　唐の文化を受け継ぎ、日本の風土や生活に合わせて発達した文化は何か。

問 31　漢字をもとに作られ、日本語を表しやすくした文字を何というか。

問 32　醍醐天皇の命で紀貫之らが編んだ、最初の勅撰和歌集は何か。

問 33　古今和歌集の編集に関わり、土佐日記も書いた歌人は誰か。

問 34　光源氏などの人物を描いた、紫式部の長編物語は何か。

問 35　源氏物語を書いた、平安時代の女性は誰か。

問 36　清少納言が宮中の生活や自然への感想などを記した随筆は何か。

問 37　枕草子を書いた、平安時代の女性は誰か。

美術と浄土信仰

問 38　平安時代の貴族の邸宅に見られる、庭や池に面した建築様式は何か。

問 39　日本の風景や人々の生活などを題材に描いた絵を何というか。

問 40　絵と文章で物語などを表し、巻物の形に仕立てたものを何というか。

問 41　阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれることを願った信仰は何か。

問 42　浄土信仰で、極楽浄土への救いを願う対象となった仏は何か。

問 43　1053 年に藤原頼通が宇治に建てた、極楽浄土を表す阿弥陀堂は何か。

問 44　平泉に奥州藤原氏が建て、金箔などの装飾で知られる堂は何か。

院政と平安後期の社会

問 45　天皇の位を退いた天皇を何というか。

問 46　1086 年に位を退き、本格的に院政を始めた上皇は誰か。

問 47　位を退いた上皇が、実権を握って行う政治を何というか。

問 48　10 世紀に瀬戸内海を中心に反乱を起こした人物は誰か。

問 49　武士として初めて太政大臣となり、平氏の全盛期を築いた人物は誰か。

問 50　平清盛が盛んにした、日本と中国の宋との貿易を何というか。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　都と新しい仏教の始まり

ア 最澄と空海が唐へ渡る　　イ 都が長岡京へ移される
ウ 最澄が比叡山に修行の拠点を築く　　エ 都が平安京へ移される

問 2　平安京と東北地方への進出

ア 最澄と空海が唐へ渡る　　イ 都が平安京へ移される
ウ 坂上田村麻呂が胆沢城を築く　　エ 坂上田村麻呂が征夷大将軍となる

問 3　大陸との交流と仏教

ア 空海が高野山を開く　　イ 中国で宋が成立する
ウ 遣唐使の派遣が取りやめられる　　エ 最澄と空海が唐へ渡る

問 4　平安時代の政治の流れ

ア 遣唐使の派遣が取りやめられる　　イ 都が平安京へ移される
ウ 藤原道長が摂政となる　　エ 白河上皇が院政を始める

問 5　和歌と物語と寺院

ア 平等院鳳凰堂が建てられる　　イ 紀貫之が土佐日記を書く
ウ 古今和歌集が編まれる　　エ 紫式部が源氏物語を書く

問 6　山での修行から浄土の表現へ

ア 最澄が比叡山に修行の拠点を築く　　イ 平等院鳳凰堂が建てられる
ウ 空海が高野山を開く　　エ 最澄と空海が唐へ渡る

問 7　藤原氏の全盛期とその後

ア 平等院鳳凰堂が建てられる　　イ 白河上皇が院政を始める
ウ 中尊寺金色堂が建てられる　　エ 藤原道長が摂政となる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　国風文化と文学の発達

ア 紫式部が源氏物語を書く　　イ 遣唐使の派遣が取りやめられる
ウ 平等院鳳凰堂が建てられる　　エ 古今和歌集が編まれる

問 9　中国の変化と平安後期の日本

ア 中国で宋が成立する　　イ 平等院鳳凰堂が建てられる
ウ 遣唐使の派遣が取りやめられる　　エ 平清盛が太政大臣となる

問 10　武士の争いと政治への進出

ア 保元の乱が起こる　　イ 藤原純友の反乱が鎮圧される
ウ 平将門が「新皇」と称する　　エ 平治の乱が起こる

問 11　朝廷と地方の武力

ア 坂上田村麻呂が胆沢城を築く　　イ 都が平安京へ移される
ウ 平清盛が太政大臣となる　　エ 平将門が「新皇」と称する

問 12　天皇と貴族の政治の変化

ア 後三条天皇が荘園整理を命じる　　イ 藤原道長が摂政となる
ウ 白河上皇が院政を始める　　エ 都が平安京へ移される

問 13　仏教文化の広がり

ア 平等院鳳凰堂が建てられる　　イ 中尊寺金色堂が建てられる
ウ 空海が高野山を開く　　エ 最澄が比叡山に修行の拠点を築く

問 14　平安の都から国風文学へ

ア 紫式部が源氏物語を書く　　イ 最澄と空海が唐へ渡る
ウ 古今和歌集が編まれる　　エ 都が平安京へ移される

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　平安後期の政治と文化

ア 平等院鳳凰堂が建てられる　　イ 白河上皇が院政を始める
ウ 平清盛が太政大臣となる　　エ 中尊寺金色堂が建てられる

問 16　院政の開始から平氏の台頭へ

ア 平清盛が太政大臣となる　　イ 保元の乱が起こる
ウ 白河上皇が院政を始める　　エ 中尊寺金色堂が建てられる

問 17　唐から宋へ交流の相手が変わる

ア 最澄と空海が唐へ渡る　　イ 平清盛が太政大臣となる
ウ 遣唐使の派遣が取りやめられる　　エ 中国で宋が成立する

問 18　文学と地方社会の変化

ア 紀貫之が土佐日記を書く　　イ 紫式部が源氏物語を書く
ウ 古今和歌集が編まれる　　エ 平将門が「新皇」と称する

問 19　荘園の整理と朝廷の争い

ア 後三条天皇が荘園整理を命じる　　イ 保元の乱が起こる
ウ 平治の乱が起こる　　エ 白河上皇が院政を始める

問 20　平安時代の大きな流れ

ア 白河上皇が院政を始める　　イ 藤原道長が摂政となる
ウ 古今和歌集が編まれる　　エ 都が平安京へ移される

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　桓武天皇が、奈良から長岡京、平安京へ都を移し、政治を立て直そうとしたのはなぜか。奈良の有力な寺院との関係にも触れて説明しなさい。

問 2　最澄と空海が広めた仏教について、それぞれの宗派と、修行の拠点となった場所を挙げて説明しなさい。

問 3　894 年に菅原道真が遣唐使の派遣を取りやめるよう建議したのはなぜか。唐の様子と、渡航の問題から説明しなさい。

問 4　藤原氏が娘を天皇の后にし、その子を天皇にすることは、なぜ政治上の力につながったか。「外戚」の語を使って説明しなさい。

問 5　摂政と関白は、それぞれどのような天皇に対して、どのような役割を果たしたか。違いが分かるように説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　摂関政治と院政は、実権を持つ人と天皇との関係がどう違うか。両方を比べて説明しなさい。

問 7　地方で土地を開発した人々などが、有力な貴族や寺社へ土地を寄進したのはなぜか。「保護」の語を使って説明しなさい。

問 8　荘園の不輸の権と不入の権は、それぞれどのような権利か。国家への税と役人の立ち入りに分けて説明しなさい。

問 9　平安時代、地方の政治や税の徴収において、国司のうち受領と呼ばれた人は、どのような役割を果たしたか。

問 10　地方で土地を開発した有力な人々などが、武装して武士団をつくるようになったのはなぜか。土地をめぐる争いと結び付けて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　朝廷や貴族が武士を頼るようになり、武士の政治上の力が強まったのはなぜか。武士が果たした仕事の例を挙げて説明しなさい。

問 12　国風文化は、どのように生まれ、どのような特徴を持つ文化か。「唐」「日本の風土」の語を使って説明しなさい。

問 13　かな文字が発達したことは、文学にどのような影響を与えたか。日本語の表し方と結び付けて説明しなさい。

問 14　源氏物語と枕草子について、作者と作品の種類・内容の違いが分かるように説明しなさい。

問 15　寝殿造・大和絵・絵巻物から二つを選び、それぞれがどのようなものか、名前と特徴を説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　平安時代の後半に、浄土信仰が広がったのはなぜか。人々の不安と、願った救いの内容に触れて説明しなさい。

問 17　発展　「894 年に遣唐使の派遣がやめられると、日本と中国の交流は完全になくなった」といえるか。その後の交流を例に説明しなさい。

問 18　発展　「不輸の権がある荘園では、農民はだれにも何も納めなくてよい」という説明は適切か。国家への税と領主への負担を区別して説明しなさい。

問 19　発展　宇治の平等院鳳凰堂と平泉の中尊寺金色堂から、浄土信仰の広がりをどう考えられるか。この二つだけで全国の暮らしも分かるか。

問 20　発展　摂関政治から院政、さらに平清盛の台頭へと政治が変わると、天皇や貴族の役割はすべてなくなったといえるか。資料も使って説明しなさい。

資料　藤原氏は天皇の外戚として力を持った。白河上皇は退位後も政治を行った。平清盛は朝廷の太政大臣となった。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	桓武天皇	26	不入の権
2	平安京	27	武士
3	坂上田村麻呂	28	武士団
4	征夷大将軍	29	平将門
5	延暦寺	30	国風文化
6	最澄	31	かな文字
7	天台宗	32	古今和歌集
8	空海	33	紀貫之
9	真言宗	34	源氏物語
10	高野山	35	紫式部
11	藤原氏	36	枕草子
12	外戚	37	清少納言
13	摂政	38	寝殿造
14	関白	39	大和絵
15	摂関政治	40	絵巻物
16	藤原道長	41	浄土信仰
17	藤原頼通	42	阿弥陀如来
18	菅原道真	43	平等院鳳凰堂
19	宋	44	中尊寺金色堂
20	荘園	45	上皇
21	公領	46	白河上皇
22	国司	47	院政
23	受領	48	藤原純友
24	寄進	49	平清盛
25	不輸の権	50	日宋貿易

認められる表記の例

問 21：国衙領も可。問 25・26：不輸・不入、または不輸の権利・不入の権利も可。
問 31：仮名文字も可。問 38：寝殿造りも可。問 41：浄土教も可。
問 42：阿弥陀仏も可。問 43：鳳凰堂も可。問 44：金色堂も可。問 46：白河法皇も可。

解答 STEP 2 並び替え

「前」は紀元前を表します。古代の年代は目安を含み、地域によって変化の時期は異なります。

番号	答え	解説
1	イ→ウ→エ→ア	長岡京への遷都（784 年） → 比叡山の一乗止観院の創建（788 年。後の延暦寺） → 平安京への遷都（794 年） → 最澄・空海の渡唐（804 年）
2	イ→エ→ウ→ア	平安京への遷都（794 年） → 坂上田村麻呂の将軍任命（797 年） → 胆沢城の築城（802 年） → 最澄・空海の渡唐（804 年）
3	エ→ア→ウ→イ	最澄・空海の渡唐（804 年） → 高野山の開創（816 年） → 遣唐使派遣の停止（894 年） → 宋の成立（960 年）
4	イ→ア→ウ→エ	平安京への遷都（794 年） → 遣唐使派遣の停止（894 年） → 藤原道長の摂政就任（1016 年） → 白河上皇の院政開始（1086 年）
5	ウ→イ→エ→ア	古今和歌集の成立（905 年ごろから） → 土佐日記の成立（935 年ごろ） → 源氏物語の成立（11 世紀初め） → 平等院鳳凰堂の建立（1053 年）
6	ア→エ→ウ→イ	比叡山の一乗止観院の創建（788 年。後の延暦寺） → 最澄・空海の渡唐（804 年） → 高野山の開創（816 年） → 平等院鳳凰堂の建立（1053 年）
7	エ→ア→イ→ウ	藤原道長の摂政就任（1016 年） → 平等院鳳凰堂の建立（1053 年） → 白河上皇の院政開始（1086 年） → 中尊寺金色堂の建立（1124 年）
8	イ→エ→ア→ウ	遣唐使派遣の停止（894 年） → 古今和歌集の成立（905 年ごろから） → 源氏物語の成立（11 世紀初め） → 平等院鳳凰堂の建立（1053 年）
9	ウ→ア→イ→エ	遣唐使派遣の停止（894 年） → 宋の成立（960 年） → 平等院鳳凰堂の建立（1053 年） → 平清盛の太政大臣就任（1167 年）
10	ウ→イ→ア→エ	平将門が新皇と称する（939 年） → 藤原純友の乱の鎮圧（941 年） → 保元の乱（1156 年） → 平治の乱（1159 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	イ→ア→エ→ウ	平安京への遷都（794 年） → 胆沢城の築城（802 年） → 平将門が新皇と称する（939 年） → 平清盛の太政大臣就任（1167 年）
12	エ→イ→ア→ウ	平安京への遷都（794 年） → 藤原道長の摂政就任（1016 年） → 延久の荘園整理令（1069 年） → 白河上皇の院政開始（1086 年）
13	エ→ウ→ア→イ	比叡山の一乗止観院の創建（788 年。後の延暦寺） → 高野山の開創（816 年） → 平等院鳳凰堂の建立（1053 年） → 中尊寺金色堂の建立（1124 年）
14	エ→イ→ウ→ア	平安京への遷都（794 年） → 最澄・空海の渡唐（804 年） → 古今和歌集の成立（905 年ごろから） → 源氏物語の成立（11 世紀初め）
15	ア→イ→エ→ウ	平等院鳳凰堂の建立（1053 年） → 白河上皇の院政開始（1086 年） → 中尊寺金色堂の建立（1124 年） → 平清盛の太政大臣就任（1167 年）
16	ウ→エ→イ→ア	白河上皇の院政開始（1086 年） → 中尊寺金色堂の建立（1124 年） → 保元の乱（1156 年） → 平清盛の太政大臣就任（1167 年）
17	ア→ウ→エ→イ	最澄・空海の渡唐（804 年） → 遣唐使派遣の停止（894 年） → 宋の成立（960 年） → 平清盛の太政大臣就任（1167 年）
18	ウ→ア→エ→イ	古今和歌集の成立（905 年ごろから） → 土佐日記の成立（935 年ごろ） → 平将門が新皇と称する（939 年） → 源氏物語の成立（11 世紀初め）
19	ア→エ→イ→ウ	延久の荘園整理令（1069 年） → 白河上皇の院政開始（1086 年） → 保元の乱（1156 年） → 平治の乱（1159 年）
20	エ→ウ→イ→ア	平安京への遷都（794 年） → 古今和歌集の成立（905 年ごろから） → 藤原道長の摂政就任（1016 年） → 白河上皇の院政開始（1086 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 桓武天皇の遷都	奈良の有力な寺院などが政治に強い影響を与えていたため、その影響から距離を置き、新たな都で天皇中心の政治を立て直そうとした。	奈良の寺院などの影響を避けることと、天皇中心の政治の立て直しを結び付ける。
問 2 最澄と空海を比べる	最澄は天台宗を広め、比叡山延暦寺を拠点とした。空海は真言宗を広め、高野山などを拠点とした。	最澄・天台宗・比叡山と、空海・真言宗・高野山を正しく組み合わせる。
問 3 遣唐使の派遣をやめる理由	唐が衰えて国内の情勢が不安定になっていたことに加え、海を渡る航海には大きな危険があったため。	唐の衰え・情勢の不安定さと、航海の危険という二つの理由を示す。
問 4 外戚として力を持つ仕組み	生まれた子が天皇になると、藤原氏は天皇の母方の親族である外戚となり、天皇を支える立場から政治に強い影響を与えられたため。	娘の子が天皇になることを、外戚として政治に影響を与える仕組みと結び付ける。
問 5 摂政と関白の違い	摂政は幼い天皇に代わって政治を行い、関白は成人した天皇を補佐して政治を行った。	摂政は幼い天皇、関白は成人した天皇という違いと、それぞれの役割を示す。
問 6 摂関政治と院政	摂関政治では天皇の外戚である藤原氏が摂政や関白として実権を持った。院政では、位を退いた上皇が実権を持って政治を行った。	藤原氏という外戚と、退位した上皇という、政治の担い手の違いを示す。
問 7 土地を寄進する理由	国司などの干渉や重い負担から土地を守るため、有力な貴族や寺社の権威を頼り、その保護を受けようとしたため。	国司などの干渉・負担を避けることと、有力者の保護を求めることを結び付ける。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 不輸と不入の違い	不輸の権は国家への税の一部またはすべてを免除される権利で、不入の権は国の役人などの立ち入りや調査を拒む権利である。	不輸は税の免除、不入は役人の立ち入りの拒否という違いを示す。
問 9 受領と地方の政治	中央から地方へ赴任し、現地で政治や税の徴収の責任を負った。地方の有力者らも使いながら、国を支配した。	現地で政治と徴税の責任を負う国司であることを示す。
問 10 武士が生まれる背景	土地や一族をめぐる争いに備え、自分たちの土地や生活を武力で守る必要があり、武装して仲間をまとめたため。	土地・一族を守る必要を、武装や武士団の形成と結び付ける。
問 11 武士が政治に近づく理由	朝廷や貴族が、反乱の鎮圧や都の警備などを武士に頼ったため、武士は武力を通して政治にも影響を与えるようになった。	鎮圧・警備などの具体例と、朝廷や貴族が武士に依存したことを示す。
問 12 国風文化の特徴	唐の文化を受け継ぎながら、日本の風土や貴族の生活・感覚に合う形へ発展させた文化で、かな文字や日本を題材にした文学・絵画が発達した。	唐の文化の受容と、日本の風土・生活に合わせた発展の両方を示す。
問 13 かな文字と文学	日本語の言葉や気持ちを表しやすくなり、和歌・物語・日記・随筆など、日本語による文学が発達した。	日本語を表しやすくなったことを、文学の発達と結び付ける。
問 14 源氏物語と枕草子	源氏物語は紫式部が書いた、光源氏などの人物を描く長編物語である。枕草子は清少納言が宮中生活や自然への感想などを記した随筆である。	二人の作者を正しく対応させ、物語と随筆という違いを示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 貴族の住まいと絵画	寝殿造は庭や池に面して建物を配置する貴族の邸宅の様式である。大和絵は日本の風景や生活などを題材に描く絵である。	二つの名前と特徴を示す。絵巻物は、絵と文章で物語などを表す巻物と説明できる。
問 16 浄土信仰が広がる背景	災害や争い、末法の世への不安などを背景に、阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれて救われることを願ったため。	社会や末法への不安と、阿弥陀如来による極楽往生の願いを結び付ける。
問 17 遣唐使停止と交流の継続	いえない。公式の使節の派遣が止まっても、商人や僧などによる交流は続いた。のちには宋の商人との貿易も行われ、平清盛も日宋貿易を盛んにした。	公式の使節と民間などの交流を区別し、宋との貿易など具体例を示す。
問 18 税の免除と農民の負担	適切ではない。不輸の権は国家への税の免除であり、農民の負担がすべてなくなるわけではない。荘園の領主へ収穫の一部などを納める負担はあった。	国家への税の免除と、領主への納入などの負担が別であることを示す。
問 19 建物から文化の広がりを考える	都の近くの貴族だけでなく、東北の有力者にも浄土信仰とその文化が広がったと考えられる。ただし、有力者の二つの建物だけでは、全国の人々の暮らしは断定できない。	地域を越えた文化の広がりを推測し、二つの有力者の建物という資料の限界も示す。
問 20 政治の変化と続いた仕組み	いえない。実権を持つ人は変化したが、天皇や朝廷の仕組みは続いた。平清盛も朝廷の官職に就いて力を強め、天皇や貴族との関係を利用した。	実権を持つ人の変化と、天皇・朝廷の仕組みが続いたことの両方を示す。